

管内関係機関 担当者 様

感染症発生動向について

このことについて令和7年第48週(11月24日～11月30日)の動向をお知らせします。

定点あたり患者数(1医療機関当たりの平均報告数)

感染症の種類	県北保健所管内 (平戸市、松浦市、佐々町)			長崎県	全国
	46週	47週	48週	48週	48週
インフルエンザ	▲11.00	▲22.00	●47.67	●43.45	44.99
新型コロナウイルス感染症	0.33	0	1.33	0.69	1.44
RSウイルス感染症	7.00	2.50	0	0.13	0.58
咽頭結膜熱	●1.50	●6.50	●3.50	0.58	0.24
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0	0.50	1.50	1.48	2.06
感染性胃腸炎	12.50	10.50	6.00	2.16	3.55
水痘	0	0	0.50	0.35	0.34
手足口病	0	0	0	0.48	0.10
伝染性紅斑	●3.00	●3.00	●3.50	●1.52	0.57
突発性発疹	0.50	1.00	0	0.23	0.20
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0.03
流行性耳下腺炎	0	0	0	0.03	0.04
急性出血性結膜炎				0	0.01
流行性角結膜炎				1.75	0.70
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.02
無菌性髄膜炎	0	0	0	0.08	0.03
マイコプラズマ肺炎	0	1.00	0	1.00	1.16
クラミジア肺炎	0	0	0	0.08	0.01
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0

急性呼吸器感染症(ARI)	42.67	61.33	69.67	89.73	88.80
---------------	-------	-------	-------	-------	-------

●:警報レベル ▲:注意報レベル

【トピックス】 インフルエンザが流行しています。

長崎県の第48週(11月24日～11月30日)の患者報告数は2,216人で、定点当たり報告数は43.45となりました。11月27日にインフルエンザ流行警報が発表され、2週続けて警報レベルの報告数となっています。地区別にみると、10保健所のうち6保健所で警報レベル、3保健所で注意報レベルの報告数となっています。年代別では、10歳未満(51%)、10代(28%)が多くなっています。今後もさらなる患者数の増加が懸念されます。手洗いの励行、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策に努め、感染予防を心がけましょう。また、インフルエンザワクチンは、発症及び重症化を一定程度予防する効果があります。希望される方は、ワクチンを接種しましょう。

【トピックス】 感染性胃腸炎に注意しましょう。

感染性胃腸炎は、12月以降に患者が増加する傾向にあります。本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はノロウイルスをはじめとするカリシウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。例年冬期に患者数が増加するのがノロウイルスによる胃腸炎です。ノロウイルスの潜伏期間は1～2日で症状の持続期間は数時間～数日です。症状は他の胃腸炎ウイルスと同様に嘔気、嘔吐、下痢が主で、腹痛や発熱を認める場合もあります。乳幼児から成人に至るあらゆる年齢に感染します。また、ノロウイルスは食中毒の原因としても検出されるウイルスです。ノロウイルスに感染した患者の手指から食品を介して感染します。予防には、手洗いが重要です。手洗いを励行し、体調管理を行い、積極的な感染防止に努めましょう。

【トピックス】 マダニやツツガムシが媒介する感染症に注意しましょう。

マダニ類やツツガムシ類は、野外の藪や草むらに生息しているダニで、野生動物が出没する環境に多く生息しているほか、民家の裏山、裏庭、畑やあぜ道などにも生息しています。マダニ類は「日本紅斑熱」や「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」を媒介し、ツツガムシ類は「つつが虫病」を媒介します。過去5年の県内の発生状況を見ると、12月にも患者の報告があります。ダニ等が媒介する感染症の予防には、ダニに咬まれないことが重要です。野外で活動する際は、長袖、長ズボン、長靴を着用するなどして肌の露出を極力避け、マダニに有効な虫よけ剤を使用して感染防止に心がけましょう。もし、マダニ等に咬まれていたことに気づいた場合、無理に取り除こうとせず、皮膚科等の医療機関で適切に処置してもらいましょう。また、咬まれた後に発熱等の症状があった場合は、速やかに医療機関を受診しましょう。受診した医療機関では、咬まれた状況などをできるだけ詳細に説明しましょう。